

アクサ生命 PRESS RELEASE

2015年5月26日

アクサ生命、2014年度の業績を発表

(2014年4月1日～2015年3月31日)

重要

- ・ アクサ生命は、2014年10月にアクサ ジャパン ホールディング株式会社に吸収合併されましたが、存続会社においてその業務と商号を継承しております。
- ・ 本資料における2013年度の数値は、合併前のアクサ生命の業績を記載しています。また2014年度の数値は、合併前(上半期4月～9月期)のアクサ生命とアクサ ジャパン ホールディング株式会社の業績の合算値と、合併後(下半期10月～3月期)のアクサ生命単体の業績を合算した数値を記載しています。
- ・ 今年度は、企業結合会計から生じる1,906億円の特別損失を計上しましたが、本業による利益を示す基礎利益は堅調であり、アクサ生命は引き続き強固な収益基盤を堅持しています。
- ・ また、合併によりアクサ生命の純資産は増加するとともに、ソルベンシー・マージン比率は堅固な水準を維持しています。
- ・ 以下の業績は日本の会計基準に基づくものであり、AXAグループに連結する際に用いるIFRS(国際財務報告基準)ベースの数値とは異なります。

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表執行役社長兼 CEO:ジャック・ドゥ・ペレティ)は、日本の会計基準に基づく2014年度(平成26年度)の業績を発表しました。

収入指標

- ・ 新契約年換算保険料は、前年同期比3.7%減の502億円
 - ✓ 死亡保障分野の新契約年換算保険料は、『アクサの「長期保障」の定期保険 OK ライフ』、ユニットリンク、定期特約、定期保険、終身保険の好調な販売により、前年同期比で43.8%増加
 - ✓ 医療保障分野の新契約年換算保険料は、『アクサの「企業経営」サポートシリーズ 就業不能保障プラン』や『大切な人 保障スペシャル』が、2013年の販売開始後の高水準な契約件数から、2014年度、安定的な件数へと推移したことを受けて減少
 - ✓ 新契約年換算保険料の総計は、変額個人年金保険および医療保障分野の販売が縮小したために減少
- ・ 保険料等収入は、前年同期比0.5%減の5,489億円
 - ✓ 死亡保障分野の保険料等収入は、無配当終身保険および低払い戻し金型終身保険の好調な販売により、前年同期比で4.5%増加
 - ✓ 医療保障分野の保険料等収入は、終身医療保険の好調な販売により、前年同期比で3.9%増加
 - ✓ 保険料等収入の総計は、主に変額個人年金保険の販売が縮小したために減少

収益指標

- ・ 基礎利益は、前年同期比28.0%減の617億円
(株価上昇に伴う資産運用収益の増加や企業結合会計によるのれん代の償却等の一時的要因を除くと、基礎利益は2.6%の増加)
- ・ 純利益は、企業結合会計から生じる特別損失^{*}を2014年10月に計上したことにより、△1,654億円
(企業結合会計による特別損失^{*}とのれん代の償却、法人税率の改定による繰延税金資産の取崩し、および株価上昇に伴う資産運用収益の増加などの一時的要因を除くと、純利益は5.7%の増加)

*企業結合会計基準に従い計上されたもので、企業の合併時にのみ発生するもの

財務基盤

- ・ ソルベンシー・マージン比率は、2013年度末の713.9%から18.6ポイント減少し、695.3%

アクサ生命の代表執行役社長兼 CEO、ジャック・ドゥ・ペレティは、次のようにコメントしています：

「2014 年度、アクサ生命は、変化する市場の中で、戦略的に死亡保障・医療保障分野に注力し、好調な成長を遂げるとともに、安定的な収益基盤を堅持した。特に、ユニットリンク商品および昨年販売を開始した『アクサの「長期保障」の定期保険 OKライフ』、『アクサの「保障重視」の定期保険 ピュアライフ』の好調な販売が牽引し、死亡保障分野の新契約年換算保険料は、43.8%増となった。持病（既往症）のあるお客さま向け商品のOKシリーズは好評で、医療保障分野においては、『アクサの「一生保障」の医療保険 OKメディカル』の販売実績が引き続き堅調となった。」

「また、成長戦略の一環として、アクサ ジャパン ホールディングと旧アクサ生命の合併を実現した。この合併の影響で、特別損失を計上しているが、合併による一時的な影響を除くと増益を達成しており、財務基盤は健全である。今後、私たちはさらなる成長の機会をつかむことができるポジションにある。」

「私たちを取り巻く環境は、変化が加速することが予想される。こうした変化を見据えて、2014 年度は、合併により迅速な意思決定を行うためのガバナンス体制を構築するとともに、新契約電子システム導入などのデジタル化プログラムの推進、マルチチャネル体制の強化や日本生命との業務提携などお客さまとのアクセスポイントの拡充を通じて、お客さまの利便性向上にむけた取り組みを行ってきた。何より、こうした取り組みによって、お客さま数が、史上最高値の 228 万人に到達したことは、私たちの戦略が正しい方向に向かっていることを証明している。」

「アクサ生命は、今後も、明確なビジョンと戦略に沿って変革を促進し、『カスタマー・エクスペリエンス（顧客経験価値）』の向上を図っていく。そして、日本の保険市場におけるリーディングカンパニーとなることを目指していく。」

アクサ生命について

アクサ生命は AXA のメンバーカンパニーとして 1994 年に設立されました。AXA が世界で培ってきた知識と経験を活かし、228 万の個人、2,200 の企業・団体のお客さまに、死亡保障や医療・がん保障、年金、資産形成などの幅広い商品を、多様な販売チャネルを通じてお届けしています。2014 年度には、2,813 億円の保険金や年金、給付金をお支払いしています。

AXA グループについて

AXA は世界 59 ヶ国で 16 万 1,000 人の従業員を擁し、1 億 300 万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく 2014 年度通期の売上は 920 億ユーロ、アンダーライニング・アーニングス（基本利益）は 51 億ユーロ、2014 年 12 月 31 日時点における運用資産総額は 1 兆 2,770 億ユーロにのびます。AXA はユーロネクスト・パリのコンパートメント A に上場しており、AXA の米国預託株式は OTC QX プラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス (DJSI) や FTSE4GOOD などの国際的な主要 SRI インデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ (UNEP FI) による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

～本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします～

アクサ生命保険株式会社 広報部

電話: 03-6737-7140 FAX: 03-6737-5964

<http://www.axa.co.jp>

添付資料

アクサ生命保険株式会社 2014 年度主要業績

重要

- ・ アクサ生命は、2014 年 10 月にアクサ ジャパン ホールディング株式会社へ吸収合併されましたが、存続会社においてその業務と商号を継承しております。
- ・ 本資料における 2013 年度の数値は、合併前のアクサ生命の業績を記載しています。また 2014 年度の数値は、合併前(上半期 4 月～9 月期)のアクサ生命とアクサ ジャパン ホールディング株式会社の合算値と、合併後(下半期 10 月～3 月期)のアクサ生命単体の業績を合算した数値を記載しています。

(1) 個人保険・個人年金保険の年換算保険料

1. 新契約の年換算保険料

(単位:百万円、%)

	2013 年度	2014 年度	前年度比
個人保険	35,555	41,368	116.3
個人年金保険	16,693	8,924	53.5
合計	52,249	50,292	96.3
うち医療保障・生前給付保障等	19,672	17,717	90.1

2. 保有契約の年換算保険料

(単位:百万円、%)

	2013 年度末	2014 年度末	前年度末比
個人保険	385,150	393,835	102.3
個人年金保険	144,474	125,147	86.6
合計	529,624	518,982	98.0
うち医療保障・生前給付保障等	200,044	202,492	101.2

(2) 保険料等収入

(単位:百万円、%)

	2013 年度	2014 年度	前年度比
保険料等収入	551,913	548,969	99.5

(3) 基礎利益

(単位:百万円、%)

	2013 年度	2014 年度	前年度比
基礎利益	85,707	61,751	72.0

(4) 純利益

(単位:百万円、%)

	2013 年度	2014 年度	前年度比
純利益	46,642	△165,454	-

(5) 事業費

(単位:百万円、%)

	2013 年度	2014 年度	前年度比
事業費	100,406	108,928	108.5